

## かがわ里海聞き書きプロジェクト 報告書 vol.4

### 「大水上神社に流れる川を守る人（三豊市）」

---

●インタビューを受けてくれた名人

宮本寿さん（大水上神社の宮司）

●インタビューした人

瀧川健太さん（香川高専詫間キャンパス 5年）

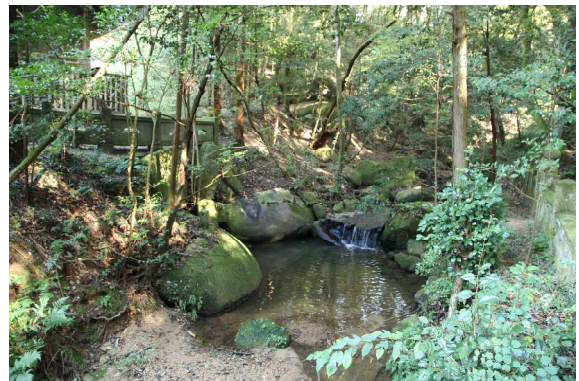
（取材日 2015年11月7日 場所・三豊市・大水上神社）

---



大水上神社は、三豊市にある神社。境内には宮川が流れており、巨石や淵が存在しています。本殿の横には「うなぎ淵」という淵があり、ここで干ばつ時の雨乞い神事が行われたとも言われています。神社は森に囲まれ、すぐ近くにある「二ノ宮の瓦窯跡」は平安後期に瓦を焼いた跡が残っています。

水を司る神社ということもあり、山あり川あり里の暮らしが重なっているという、かがわの里海を象徴するかのような場所でもあります。





今回インタビューした宮本さんは、大水上神社の宮司さん。代々神社の宮司をされている家庭に生まれ、お母様の跡を継ぎ、宮司となりました。地域の方々と協力しながら、受け継いできた大水上の美しい自然・神社を守ってきた宮本さん。人とのつながり、自然とのつながり、地域とのつながりを大切にされています。



宮本さんのお話を通して、地域とのかかわりが昔に比べ希薄になっているのだと知った瀧川さん。地域とのつながりが薄くなっていくことで、伝統が失われたり自然が汚されたりしてしまう。「私たちの世代がそういった地域の状況を気づくことから始める必要があると感じました」と、後で語ってくれました。

